

KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I.会長 ジョン・F.ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I.2720地区ガバナー 前田眞実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高原 ■会報担当：長野義文  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年8月5日】

第1224回

2016-2017年度 第4回

2016~2017年度 前田 眞実ガバナー公式訪問

熊本第3グループ(4RC)合同例会プログラム

【日時】平成28年8月5日(金)

【会場】熊本ホテルキャッスル 2F「キャッスルホール」

<司会 熊本RC 幹事 山田 哲大>

■食事の時間

<12:00~12:30>

■黙とう(故 野田三郎パストガバナーご冥福を祈って)

■例会

<12:30~>

1.開会、点鐘 熊本RC 会長 牛嶋 正弘

1.国歌斉唱「君が代」

1.ロータリーソング「奉仕の理想」ソングリーダー 高森 郁子

1.来訪者紹介及び歓迎挨拶 熊本RC 会長 牛嶋 正弘

1.クラブ会長、幹事、会員紹介 熊本RC 会長 牛嶋 正弘

1.幹事報告 熊本RC 幹事 山田 哲大

1.スマイル報告 熊本RC スマイル委員長 東川 浩三

1.スマイル贈呈 熊本県ロータリー奨学会理事長 小野 友道

(代理 熊本県ロータリー奨学会理事 中尾潤一)

熊本RC 会長 牛嶋 正弘

1.謝辞 熊本県ロータリー奨学会理事長 小野 友道

(代理 熊本県ロータリー奨学会理事 中尾潤一)

1.ガバナー補佐挨拶 熊本第3グループガバナー補佐 松本 繁

<13:00~>

1.ガバナーアドレス RI 第2720地区ガバナー 前田 眞実

<13:30>

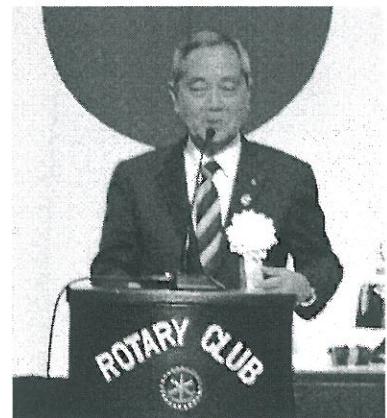
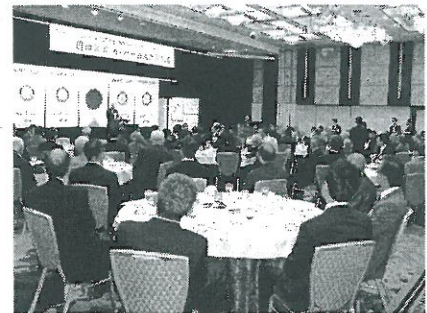
1.閉会、点鐘 熊本RC 会長 牛嶋 正弘

(敬称略)

■記念撮影

<13:30~>

前田眞実ガバナーとの記念撮影を例会場ステージにてクラブ単位で行いました。



松本繁ガバナー補佐

### 卓話予定

【8月】 ~「会員増強および拡大月間」~

8日「熊本城は今」熊本市文化財専門相談員 富田 紘一氏

15日 例会取り止め(定款第6条第1節に基づき)

22日「再発見の熊本」農林中央金庫熊本支店業務第一班 課長 宮野真由美 氏

29日「会員増強クラブ・フォーラム」

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

## 来訪者並びに参加クラブ紹介

1. 来訪者紹介 熊本RC 会長 牛嶋 正弘
  - 1 RI 第2720 地区ガバナー 前田 眞実 様
  - 2 RI 第2720 地区ガバナーエレクト 永田 壯一 様
  - 3 RI 第2720 地区熊本第3 グループガバナー補佐 松本 繁 様
  - 4 RI 第2720 地区幹事 中野 裕貴 様
  - 5 RI 第2720 地区熊本第3 グループガバナー補佐幹事 白木 誠一 様
  - 6 熊本県ロータリー奨学会理事長 小野 友道 様  
(代理 熊本県ロータリー奨学会理事 中尾 潤一 様)
  - 7 米山奨学生 唐 超 様
1. 各クラブ会長、幹事、会員の紹介 熊本RC 会長 牛嶋 正弘
  - 1 熊本北R.C. 10 名 会長 中川 信三 様、幹事 白石 正英 様
  - 2 熊本城東R.C. 19 名 会長 東 克章 様、幹事 森永 博臣 様
  - 3 熊本グリーンR.C. 17 名 会長 河島 一夫 様、幹事 葉 高原 様
  - 4 熊本R.C. 54 名 会長 牛嶋 正弘 様、幹事 山田 哲大 様

### ホストクラブ会長挨拶



熊本RC 牛嶋 正弘 会長

皆さん今日は。本日は、国際ロータリー第2720地区ガバナー前田眞美様をお迎えしての、熊本第3グループ4クラブによります合同例会です。

私は今日の例会のホストクラブを担当致します熊本ロータリークラブの会長牛嶋正弘でございます。進行の手順など、不行き届きがありましたら、どうぞロータリーの寛容の心でご容赦ください。

それでは、4クラブを代表いたしまして一言ごあいさつ申し上げます。今年度は、今年4月に起きた熊本地震の余震もまだ続く、大変厳しい状況の中でのスタートです。そういう時期に前田ガバナーをお迎えして、熊本第3グループ4クラブの合同例会を、このような形で開催することができ大変嬉しく思っております。改めて所属の全会員、心から歓迎を致します。

また、今日は、午前中から当ホテルキャッスルにおいて、前田眞美ガバナーを中心に、1クラブごとの「会長・幹事懇談会」が開催されました。ロータリー活動について前田ガバナーより平素の思いを含め、いろいろな観点からのご助言を頂きました。誠に有り難うございました。

さて、この後、卓話の時間を利用してご出席の4クラブの皆さんに公式訪問としてのガバナーアドレスが御座います。大変楽しみにしております。

処で、7月にガバナー月信が久しぶりにペーパーで配布されました。ガバナーはその月信の中で、「1日も早い復旧・復興に向けて活動することが私に課せられた使命です。厳しいスタートとなりましたが、このような年度に私がガバナーで良かったと前向きにとらえます。皆様と一致団結し、この厳しい時期を乗り越え、より活性化されたロータリークラブ、地区になるよう共に頑張りたいと思います。」と述べられております。我々も前田ガバナーのこの気持ちをしっかりと受け止め、この1年ロータリー活動を進めていきたいと思っております。

本日もご出席の皆様、どうぞ最後までご清聴の程宜しくお願いいたします。

### 幹事報告 熊本RC 幹事 山田 哲大



<熊本第3グループ4RC合同前田眞実ガバナー公式訪問 幹事報告>

①平成28年8月のガバナー月信が地区ホームページに掲載されました。

②規定審議会の報告・管理運営セミナー(熊本開催)のご案内

日 時 2016 年 10 月 22 日 (土) 10:30~12:30(受付開始10:00~)

場 所 司ロイヤルホテル 2F 桜桃の間(中ホール)

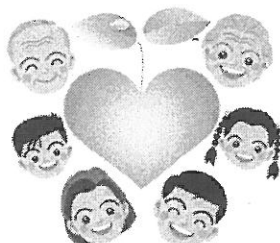
出席対象者 ガバナー補佐、会長、会長エレクト、幹事、幹事エレクト、クラブ  
研修リーダー、管理運営委員会(クラブ奉仕委員会)、他希望者

<熊本第3グループ4RC合同前田眞実ガバナー公式訪問 スマイル報告>



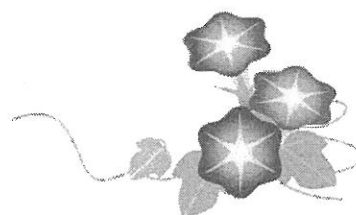
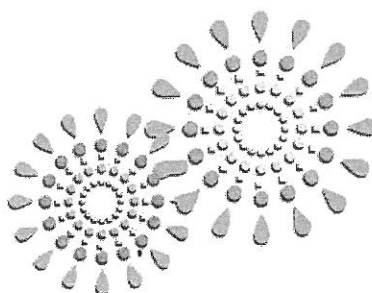
報告者 熊本RCスマイル委員長 東川浩三

全員スマイル 100,000円を  
 公益財団法人 熊本県ロータリー奨学会へ寄付  
 <目録贈呈>熊本東RC 牛嶋 正弘 会長より  
 公益財団法人 熊本県ロータリー奨学会  
 小野 友道 理事長へ



熊本グリーンRC 出席報告

	会員総数	22名	出席率
8月5日	出席免除会員数	1名	76.19%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	16名	
7月18日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			



【ガバナーアドレス】

国際ロータリー第2720 地区 ガバナー 前田 眞実 (大分キャピタルRC)



今年度、地区ガバナーを拝命しました大分キャピタルRC の前田です。職業分類は専門学校です。本日はガバナーアドレスとして例会の貴重な時間をいただき大変感謝しております。本日のアドレスの内容ですが次の4 つのことを柱に進めてまいります。①国際協議会の報告、②今年度の地区方針、③規定審議会について、④その他、どうぞよろしくお願い致します。

1) 国際協議会の報告

国際協議会が2016年1月17日～22日(現地時間)の6日間、サンディエゴのグランドハイアットホテルにて開催されました。2 日目の本会議にて、RI会長エレクトのジョン・F・ジャーム氏より、次年度テーマの発表と講演がありました。テーマは「人類に奉仕するロータリー」という事で、とても分かりやすく日本の他地区のガバナーエレクトにも好評でした。

講演内容の中で印象に残っているのは3つあり、第1に2017年はロータリー財団の記念すべき100周年を迎えるので、周年行事を含め、ロータリー財団の活動に取り組んで貰いたいということです。次に会員増強について言われました。ただ、従来の会員増強と違うのは、会員は増やさなくてはならないが、質を落としてはいけないということです。第3に公共イメージのUPを挙げていました。ロータリーの活動を多くの人に知ってもらうことがロータリーのイメージを上げ、そのことから増強に繋がる。それにはマスコミを含め、一般の人から喜んでもらえる奉仕プロジェクトを実施することが大切だと語っていました。それから、研修とは別に、懇親会や晩餐舞踏会、祭りのカーニバル等、他国の人と触れ合う機会がありました。そこで、多様性について学ぶことが出来、お互いを尊重し合うことの大切さを学びました。

このような機会を与えて頂いたことに衷心より感謝を申し上げます。ロータリーの目的の実現、並びに、地区やクラブの発展に少しでも寄与できればと思います。ハードではありましたが、楽しい充実した国際協議会でした。

## 2) 今年度の地区方針

今年度の地区スローガンは「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」としました。ロータリーは2005年に100周年を迎え、それを機にロータリーのシステムが大きく変わり始めています。一例として、CLP(クラブリーダーシッププラン)の導入、4大奉仕から5大奉仕へ、職業人以外の入会、Eクラブや衛生クラブの誕生、未来の夢計画によるR財団のプログラムの変更等が挙げられます。そんな中で、私たちが取り組まなければならないことは、変化に対応していくことです。企業経営も同じで時代に順応出来なければ淘汰されてしまいます。ロータリーが時代に即した、変化を求めているならば私達もその変化を意識し、学び、順応しなければなりません。しかしながら、どのように変化しようとも守らなければならないこともあります。そして、未来へ向けて若い人々を育てる使命が我々ロータリアンにはあります。今まさに不易流行を意識した組織運営が求められています。

## 3) 規定審議会について

3年に1度、開催される規定審議会では、クラブや地区、理事会などから提案された立法案の審議と投票が行われます。組織としてのロータリーの運営について、ロータリアンが意見を表明する場となります。4月に審議し可決された案件は今年の7月から有効です。

今回の規定審議会では、より多くの裁量をクラブに委ねる立法案が採択されました。その中心となるのが定款第7条です。この第7条は例会と出席に関する規定の例外となっており、その内容は次の通りです。「本定款の第8条第1節、第12条第1、2、3、4、5節、第15条第4節に従わない規定または要件を細則に含めることができる。そのような規定または要件は、本定款の上記の節の規定または要件に優先する。ただし、クラブは毎月少なくとも2回例会を開催しなければならない。」分かりやすく言うと第8条、12条、15条の中で該当する節はクラブで議論し、クラブの意向で決定して良いというものです。もちろん決定したことは細則に謳わなければなりません。

今後は、すべて踏襲するのではなく、クラブの規模や文化(価値観)に見合ったクラブ運営が求められます。良く考え、皆で議論し、最も自分たちのクラブに適した運営方法を作り上げていくべきです。企業経営と同じで変化や進化の無いクラブはやがて淘汰されます。そして、最も大切なことは何のために入っているのか?ロータリーの目的を常に意識することです。

## 3) その他

最後は皆さんにお願いしたいことがあります。1つは地区大会の件です。2017年の3月23・24日で行われますが、初日はR財団100周年記念チャリティーゴルフコンペを開催します。また、別会場にて指導者育成セミナーや新会員研修も実施します。2日目はジャパネットたかたの元社長の講演、晩餐&懇親会と充実したプログラムを用意しておりますのでご参加の程よろしくごお願い致します。

また、早いもので次年度の準備が始まっております。これから地区委員の募集等が始まると思いますが、ぜひクラブより地区委員を輩出してください。多くの人と知り合う機会があり、とてもためになると思います。皆さんでぜひ永田年度を盛り上げて頂きます様重ねてお願い申し上げます。以上をもちまして本日のガバナーアドレスを終了いたします。ご清聴ありがとうございました。